

只見町 橋梁長寿命化修繕計画



万代橋

令和4年12月

福島県南会津郡只見町

— 目 次 —

I. 様式1-1

※ () は「道路メンテナンス事業補助制度」
における補助要件

1. 長寿命化修繕計画の目的	1	—国土交通省— インフラ長寿命化 基本計画における記載事項
2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁	3	1. 対象施設
3. 健全度の把握及び日常的な 維持管理に関する基本方針 (・老朽化対策における基本方針) (・新技術等の活用方針)	6	2. 計画期間
4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替え に係る費用の縮減に関する基本的な方針 (・費用の縮減に関する具体的な方針)	8	3. 対策の優先順位の考え方 4. 個別施設の状態等
5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期 及び修繕内容・時期又は架替え時期 (・構造物の諸元・直近の点検結果及び次回点検年度) (・対策内容・対策の着手、完了予定年度) (・対策に係る全体概算事業費)	11	5. 対策内容と実施時期 6. 対策費用
6. 長寿命化修繕計画による効果	11	
7. 計画策定担当部署及び意見聴取した 学識経験者等の専門知識を有する者	12	

II. 様式1-2

対象橋梁ごとの概ねの次回点検年度
及び対策内容・着手時期又は架替え時期

III. 優先順位一覧表

1. 長寿命化修繕計画の目的

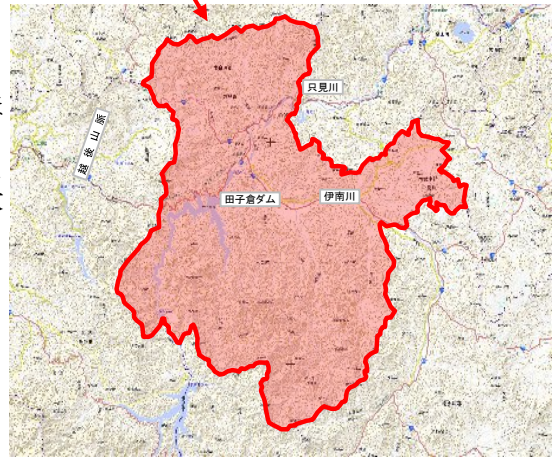
1) 只見町の現状

福島県の最西端に位置する只見町は、人口3,854人（2022年9月現在）面積747.56平方kmの町で、周囲を1,000m級の山々に囲まれた面積の94%が山地の自然豊かな町です。気候は日本海式気候で積雪量が多く、日本有数の豪雪地帯で特別豪雪地帯に指定されています。

町内には只見川と伊南川が流れ、河川に沿って国道252号（冬期通行不可区間有）や289号（新潟方面（八十里越）不通）、県道が走っています。周囲の山々から流れる支川沿いには町道が走っており、それら道路に集落が点在しています。町内にはJR只見線も通っており、2011年7月の新潟・福島豪雨により鉄道橋が流出し不通となっていました。2022年10月、約11年ぶりに全線運転再開となり、地域住民の生活の足となっているほか、県内外からの観光客の増大に寄与しています。

町内には321.1kmの道路が整備され、2本の国道及び5本の県道に通じる生活道路や農耕用道路のほか、観光スポットなどへのアクセス道路として利用されています。町道に架かる橋梁は204橋ありますが、只見川及び伊南川に架かる100m以上の長大橋を12橋有していることが特徴となっています。また、周囲の山々から流れる川や沢が多数あることから、橋梁も広範囲に架かっていることも、特徴の一つとなっています。

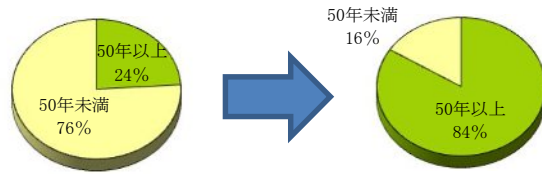
福島県内市町村位置図



2) 背景

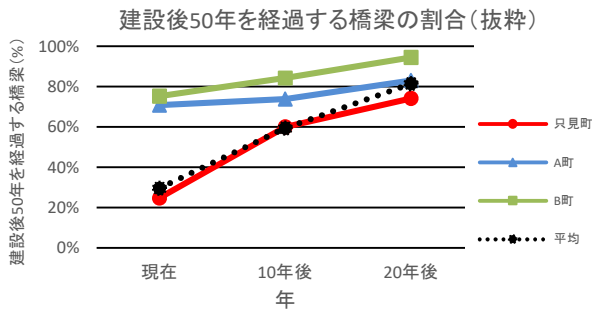
只見町の管理する橋梁は、2022年時点で建設後50年以上を経過する橋梁は全体の約24%ですが、10年後の2032年には62%、20年後の2042年には84%程度に急激に増加します。

これらの高齢化を迎える橋梁群に対して、従来の対症療法型の維持管理を続けた場合、橋梁の修繕・架け替えに要する費用が増大となることが懸念されます。



2022年度

2042年度

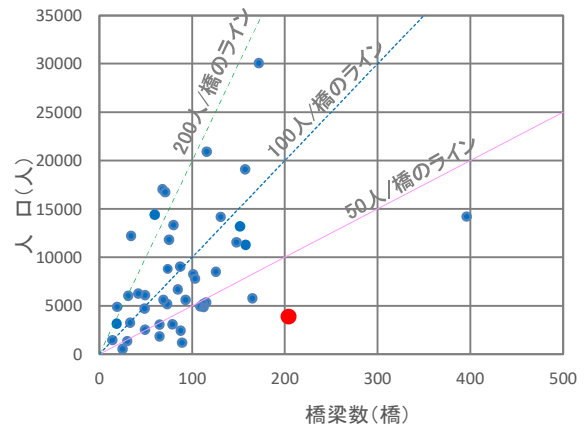


近隣町村との比較

町村名	面積 (km ²)	人口 (人)	人口密度 (人/km ²)	橋梁数 (橋)	橋梁の密度 (橋/km ²)	一橋当りの人口 (人/橋)
只見町	747.56	3854	5.1554	204	0.2729	18.892
金山町	293.92	1804	6.1377	65	0.2211	27.754
南会津町	886.47	14207	16.026	396	0.4467	35.876
昭和村	209.46	1157	5.5237	89	0.4249	13

人口は2022年現在

福島県内市町村(抜粋)の人口と橋梁数の関係

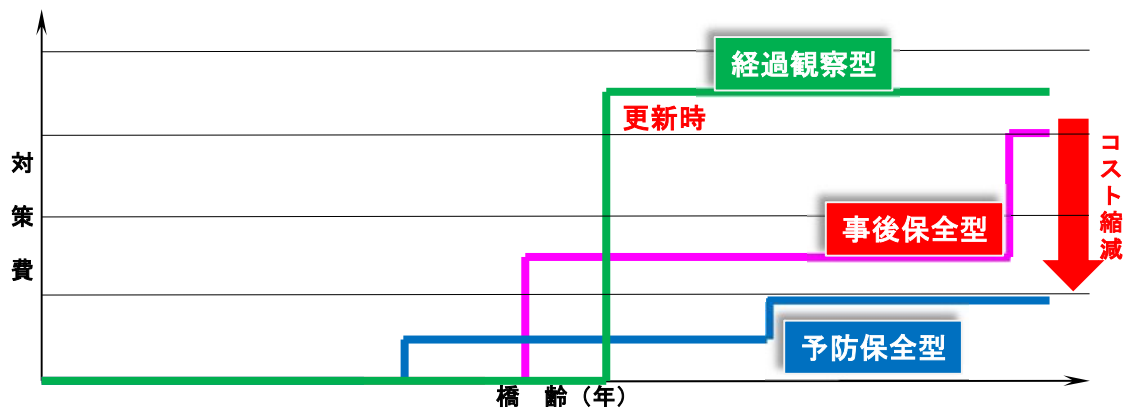
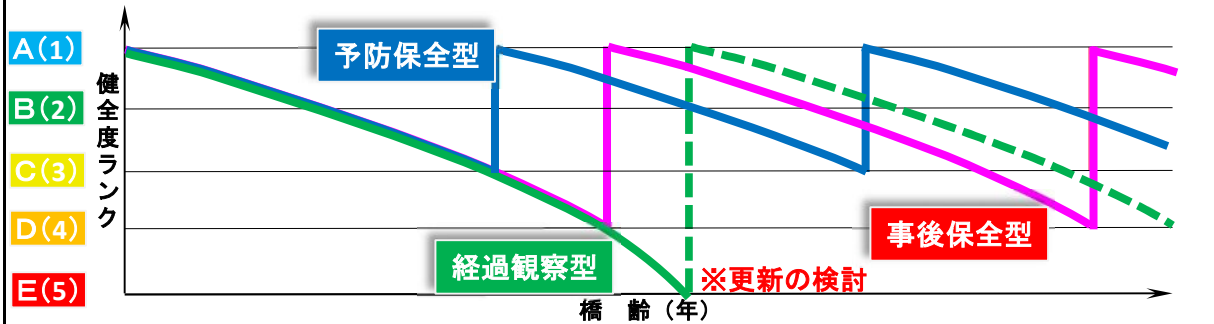


3) 目的

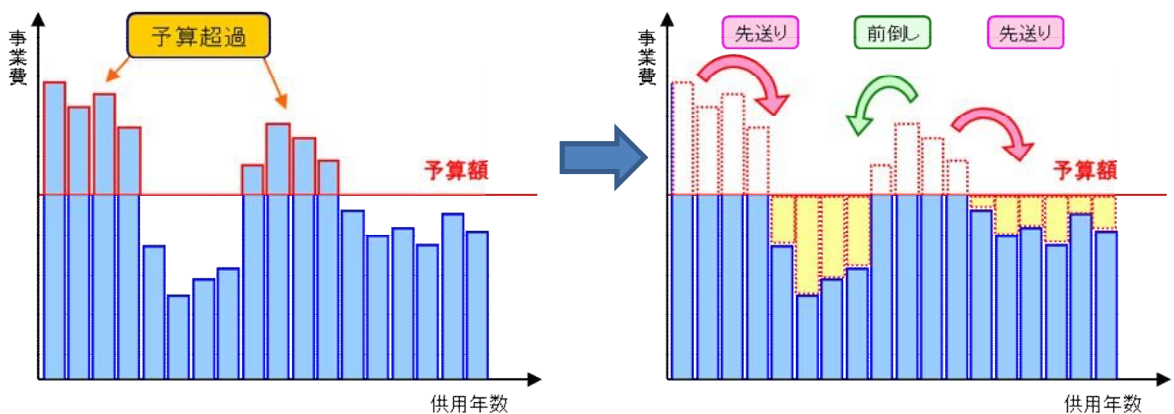
このような背景から、より計画的な橋梁の維持管理を行い、限られた財源の中で効率的に橋梁を維持していくための取り組みが不可欠となります。

将来にわたり橋梁を保全・維持するためには、費用のかかる架替えが一時期に集中しないように長寿命化修繕計画を策定して、財政負担を低減・平準化する必要があり、コスト縮減のためには、従来の事後保全型（対症療法型）から、“損傷が大きくなる前に予防的な対策を行う”予防保全型へ転換を図り、橋梁の寿命を延ばす必要があります。

そこで只見町では、将来的な財政負担の低減および道路交通の安全性の確保を図るために、橋梁長寿命化修繕計画を策定します。



対策シナリオのイメージ

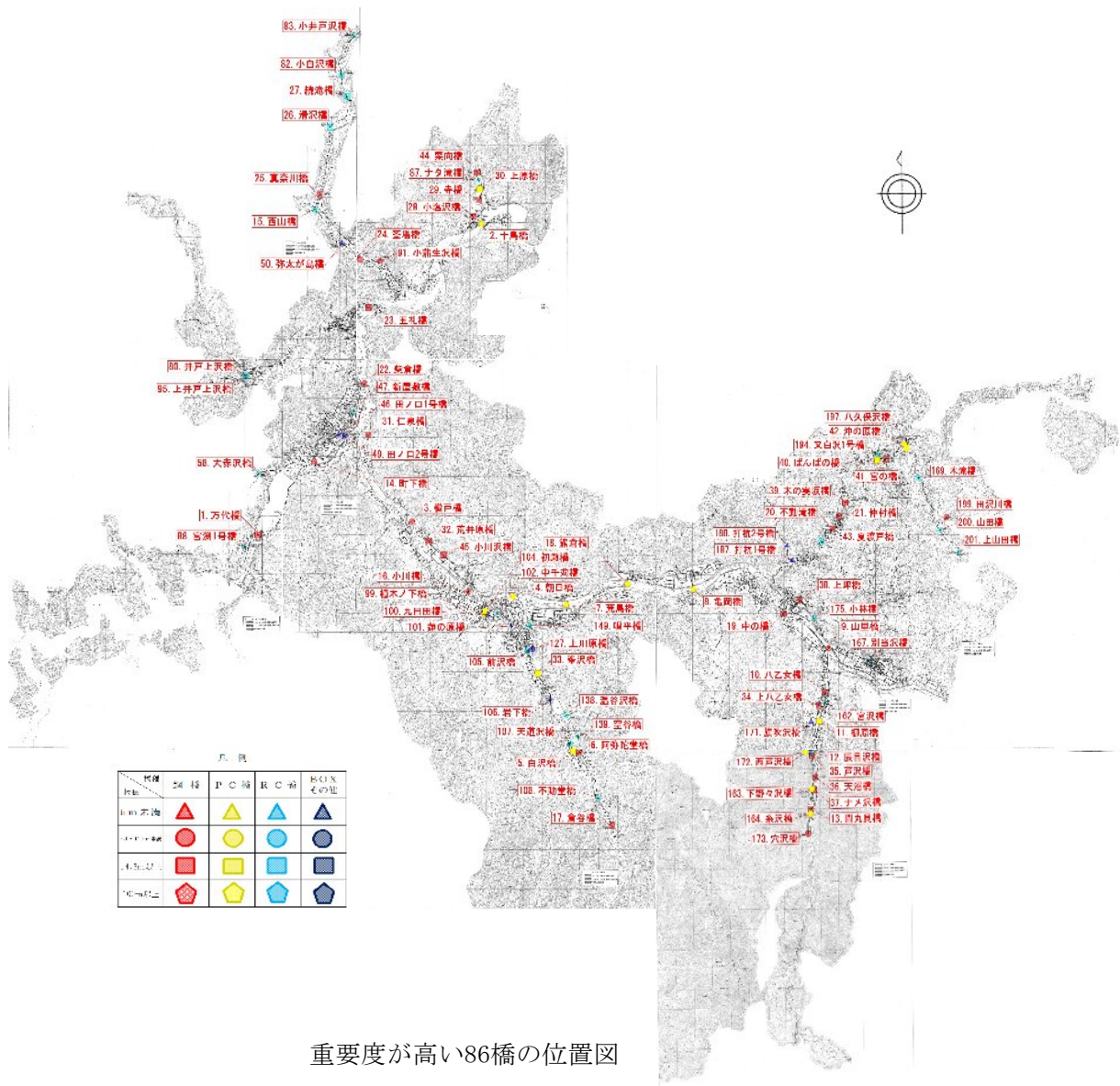


予算平準化のイメージ

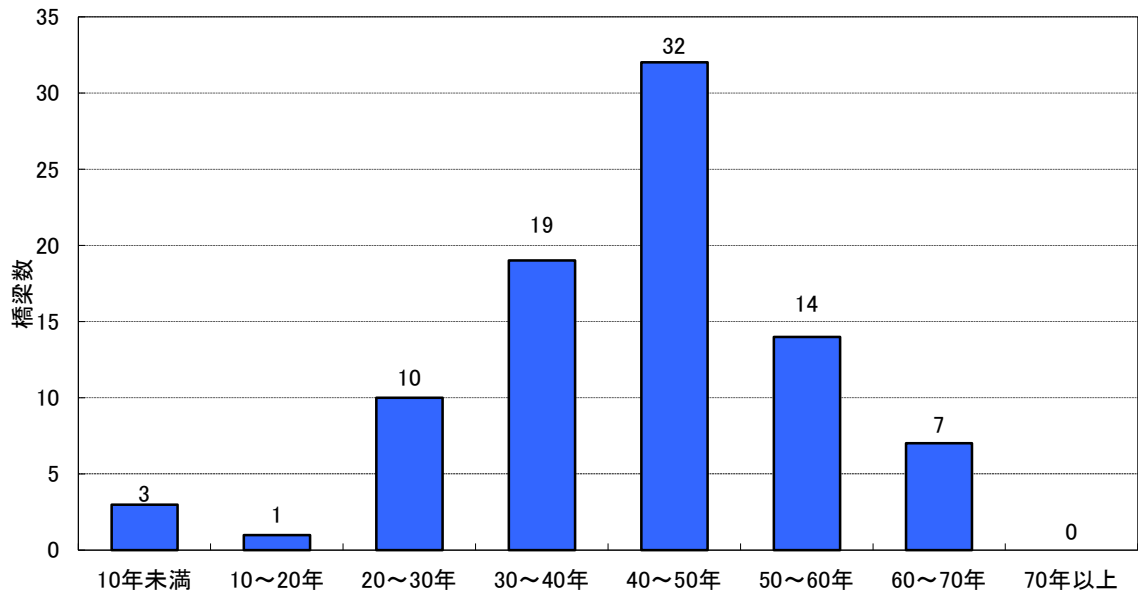
2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁
(対象施設)

	町道 1級	町道 2級	町道 その他	合計
全管理橋梁数	31	18	155	204
うち計画の対象橋梁数	31	18	155	204
うちこれまでの計画策定橋梁数	31	18	155	204
うち2022年度計画策定・更新橋梁数	31	18	155	204

※長寿命化修繕計画の対象：只見町が管理する橋長2m以上の橋梁全204橋とし、特に、重要度の高い86橋については、健全度評価、LCC算出・比較を行い、個別施設計画を策定します。
その他の118橋については、LCC算出・比較を行わない経過観察型とし、日常パトロールや定期点検により、早期対策の必要な損傷が確認された時点で、撤去・集約化を踏まえて、補修内容を検討していきます。



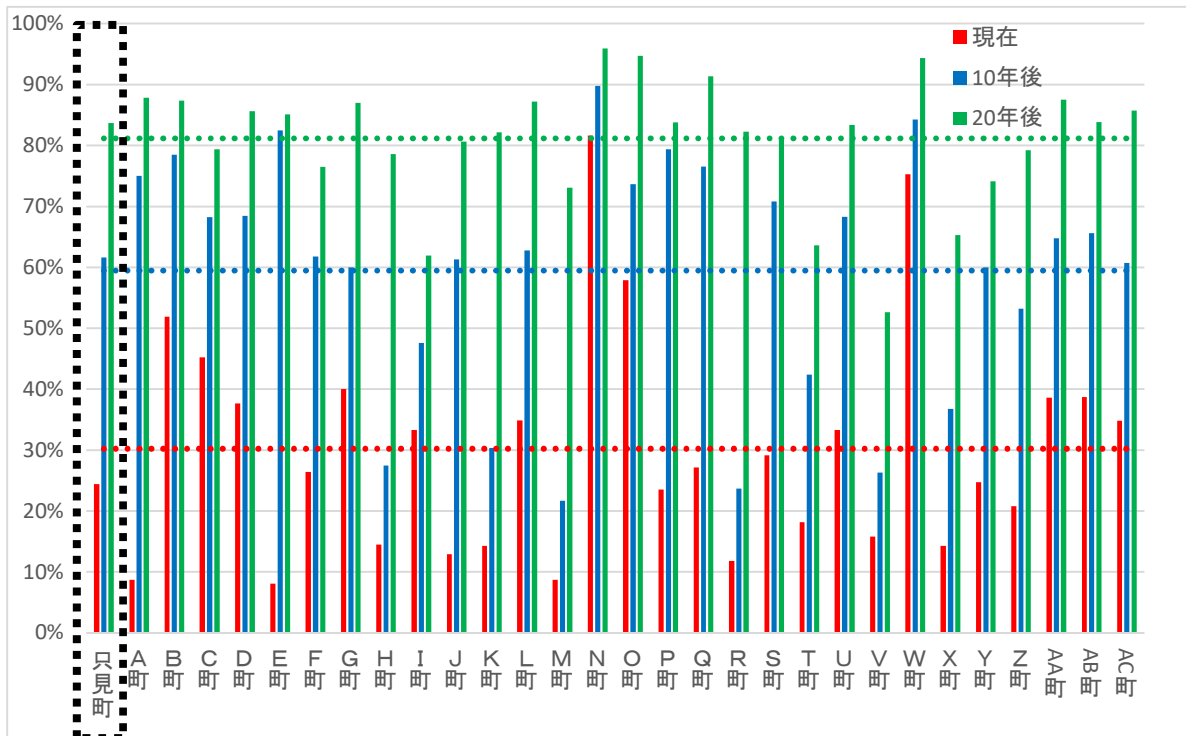
経過年数別橋梁数



経過年数別橋梁数

※長寿命化修繕計画で対象としている重要度の高い橋梁86橋のうち、建設後50年以上を経過している橋梁は21橋あり、全体の24%を占めています。

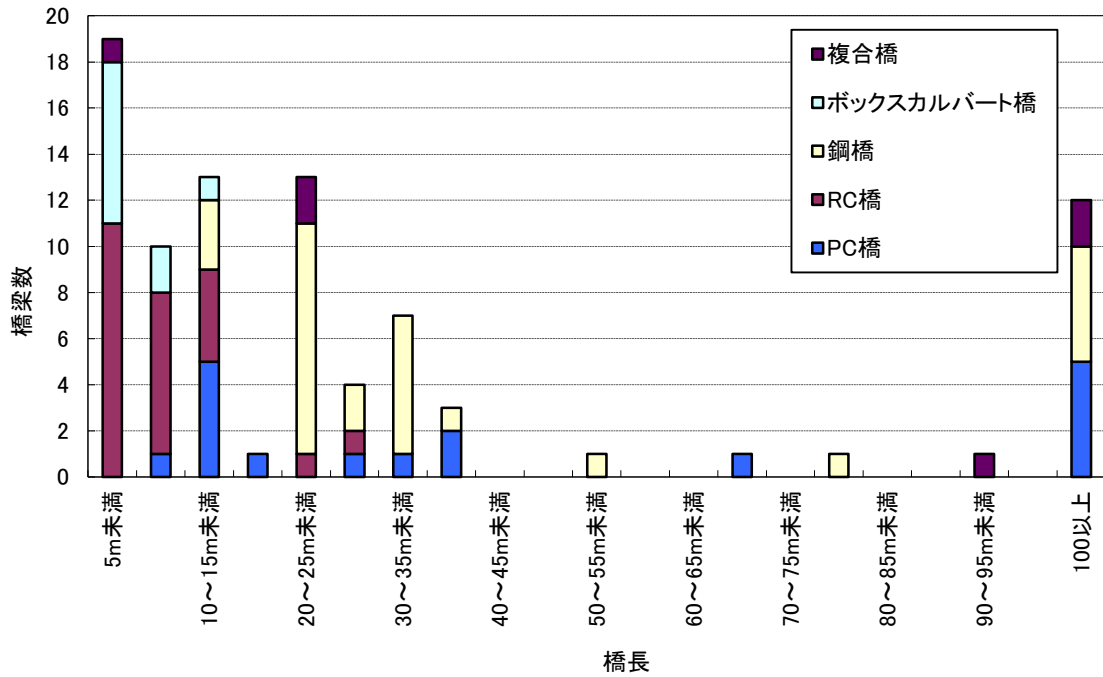
県内市町村（抜粋）の建設後50年以上を経過する橋梁の割合



※点線：県内市町村の平均値

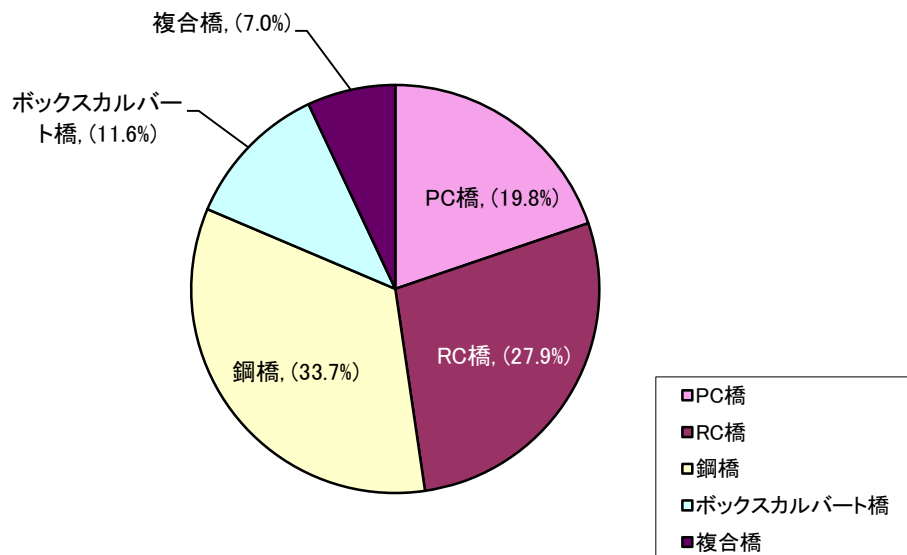
現在 (30%) 10年後 (59%) 20年後 (81%)

橋長別橋梁数



※長寿命化修繕計画で対象としている重要度の高い橋梁86橋のうち、15m以上の橋梁が44橋あり全体の51%を占めています。44橋の内の12橋は100mを超える長大橋となっています。

上部工使用材料別橋梁数の比率



※上部工使用材料別ではRC橋が24橋で全体の約28%、PC橋が17橋、ボックスカルバートが10橋でコンクリート橋が全体の59%を占めています。複合橋は、鋼トラス橋+鋼I桁橋が2橋、鋼トラス橋+鋼I桁橋+鋼箱桁橋が1橋、RCT桁橋+RC床版橋が2橋、RC床版橋+ボックスカルバート橋が1橋です。

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針
(計画期間)

1) 健全度の把握の基本的な方針

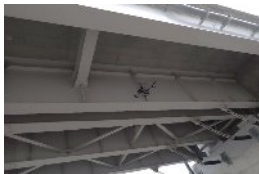
(・老朽化対策における基本方針)

健全度の把握については、国土交通省道路局の「道路橋定期点検要領」(平成31年2月)に基づいて、専門技術者による5年に1回の定期点検及び健全性の診断や、必要に応じて行う詳細点検により、各部材の劣化や損傷の程度などを早期に把握します。

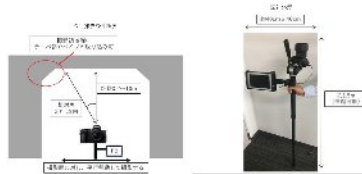
(・新技術等の活用方針)

定期点検における近接方法については、新技術情報提供システム(NETIS)や点検支援技術性能カタログなどを参考に、有用な新技術の活用を検討していきます。

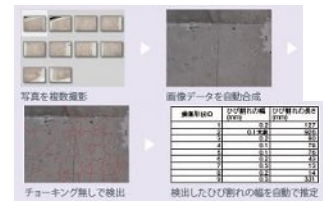
短期的な数値目標として、特に2巡目点検において損傷無しまたは軽微で、判定区分「I」となった床版橋や溝橋等の小スパン橋梁の内、1橋程度については、令和6年度から令和10年度までの3巡目点検時に、画像解析・AI診断等の新技術活用を検討し、点検費用10万円程度のコスト縮減及びとりまとめ作業の効率化を目指します。



ドローンによる桁下の点検



デジタルカメラによる溝橋の点検



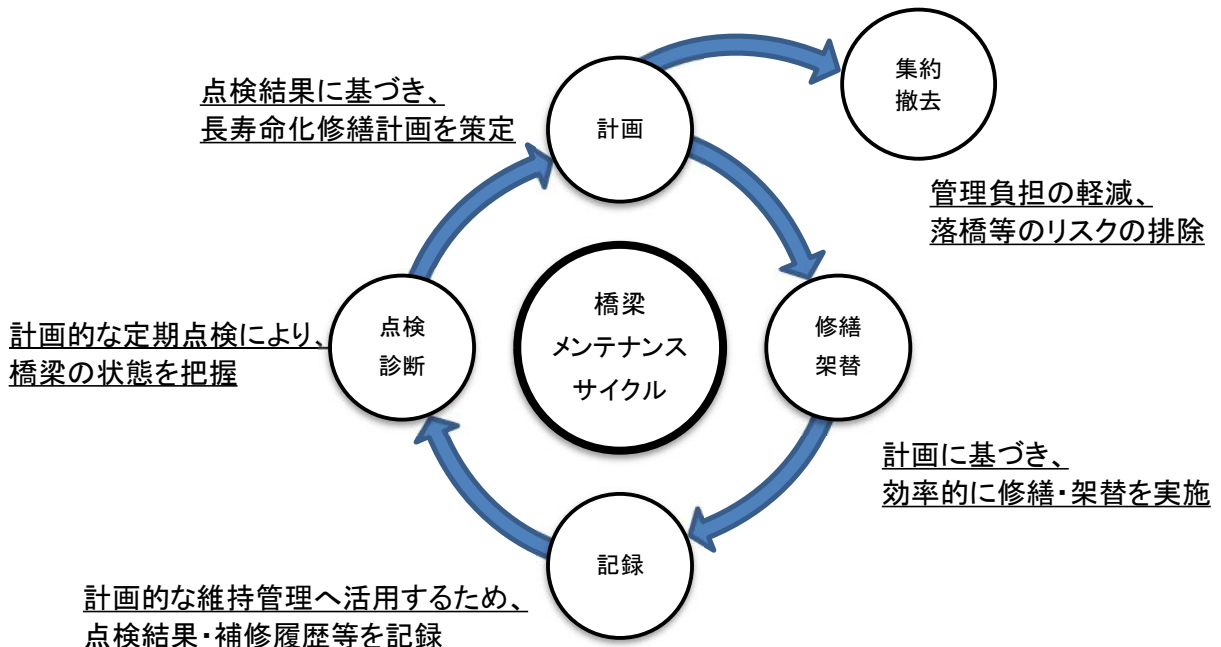
画像診断・AI診断

橋梁点検における新技術の活用例：(出典)国土交通省「点検支援技術性能カタログ」

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

利用者の安全性の確保及び橋梁を良好な状態に保つために、町職員によるパトロールを実施し、排水柵清掃や舗装の軽微な補修等の日常的な維持管理を行います。

橋梁メンテナンスサイクル 概念図



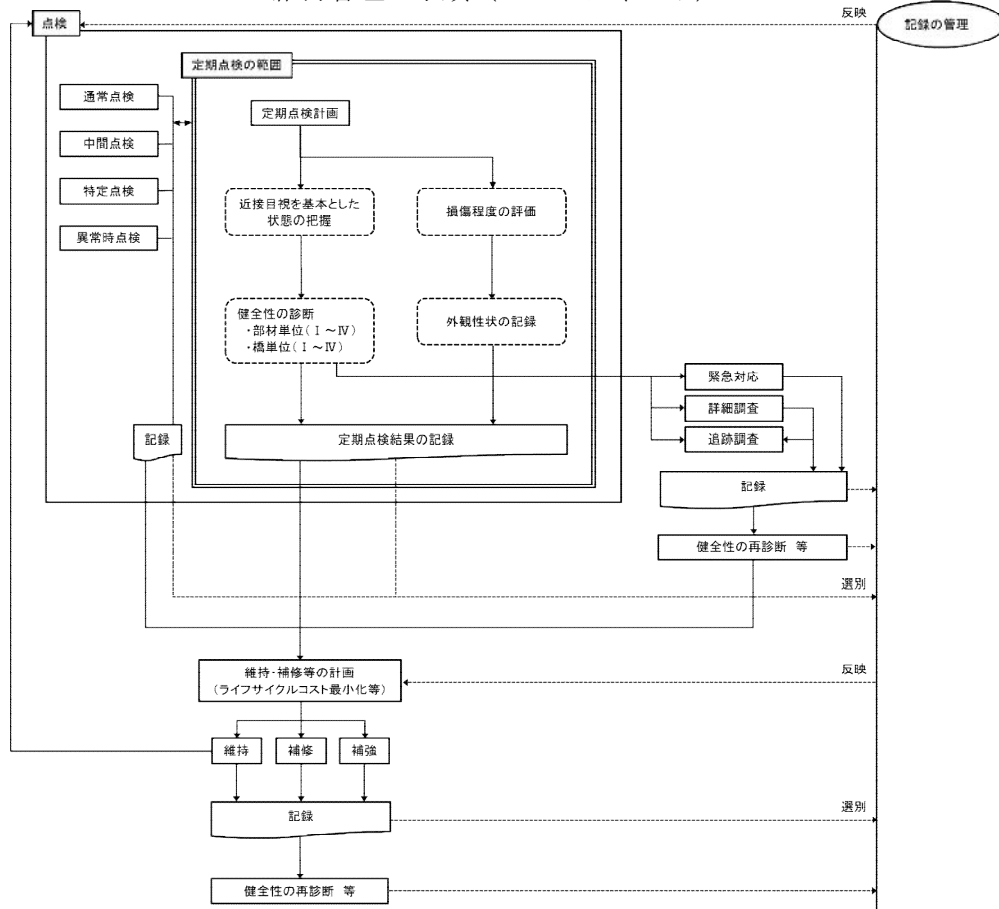
3) 計画期間

5年に1回の定期点検結果を基に中長期的な予測を行い、今後50年間の橋梁長寿命化修繕計画を策定します。(計画期間：2023年～2072年)

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

参考：橋梁維持管理の基本的な考え方

維持管理の手順（フローチャート）



出典：橋梁定期点検要領（国土交通省 道路局 国道・技術課、H31.3）を一部修正

点検の種類

通常点検	突発的に生じる不具合や損傷を早期に発見するために、高い頻度で行われる点検。日常巡回やパトロールと合わせて行ったり、巡回やパトロールそのものがこれを兼ねるものと位置づけられる場合もある。
定期点検	橋梁の損傷状況の把握及び健全性の診断をあらかじめ頻度を定めて計画的に実施する詳細な点検。全ての部材に近接して目視調査を行うことが基本であり、必要に応じて非破壊検査機器なども用いて必要な情報を得る。
中間点検	定期点検を補うために、定期点検の中間年に実施するもので、定期点検時に、次回の定期点検まで待たずに途中で状態確認を行うことが必要と判断された場合に計画される。
臨時点検	塩害やアルカリ骨材反応、鋼部材の疲労等の定期点検のみでは適切かつ十分な評価が困難な特定の事象に対して、定期点検とは別に、それぞれの事象に特化した内容によって行われる点検。
異常時点検	地震、台風、集中豪雨、豪雪等の災害や大きな事故が発生した場合などに、橋梁の状態を確認するために臨時で行われる点検。

4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針
(対策の優先順位の考え方)

只見町が管理する橋梁の中で、架設後30年以上を経過した橋梁は全体の84%を占めているため、近い将来一斉に架替時期を迎えることが予想されます。したがって、計画的かつ予防的な修繕対策の実施へと転換を図り、橋梁の寿命を100年間とすることを目標とし、修繕及び架替えに要するコストを縮減します。

1) 管理区分の設定

修繕計画策定にあたり、橋梁の諸元情報（橋長や幅員等）や重要度を考慮した管理区分を橋梁毎に設定します。

管理区分の定義

管理区分	該当橋梁	補修時期	寿命	点検方法		簡易予防保全	
				日常巡回 ※2	橋梁点検 (1回/5年) ※3	橋面 洗浄	桁 洗浄
S	本橋予防 保全型 ・跨線橋 ・跨道橋 ・橋長100m以上 ・重要度(※1) 該当3つ	健全度ランクD(4) にしない	原則架替え は行わない	○	○	② ※4	②
A	予防保全型 重要度該当2つ	健全度ランクD(4) にしない	100年	○	○	⑤	⑤
B	事後保全型 重要度該当0 または1つ	健全度ランクE(5) にしない	60年	○	○		⑤
C	経過観察型 ・重要度該当0 かつ ・カルバート橋 ・5m未満橋梁 ・仮橋 ・橋梁以外の形式	健全度ランクE(5) になるまで	耐用年数 まで	○	○		
備考	※1「重要度」 ①緊急輸送路 ②1,2級市町村道 ③バス路線		特殊橋梁は 橋梁ごとに 設定	※2「日常巡回」は、排水溝の 清掃及び畜産面の堆積土砂 除去を実施(費用は計上せ ず) ※3橋梁点検費用は計上		※4簡易予防保 全費用を橋梁ごと に計上する ②:2年に1回 ⑤:5年に1回	

(・費用の縮減に関する具体的な方針)

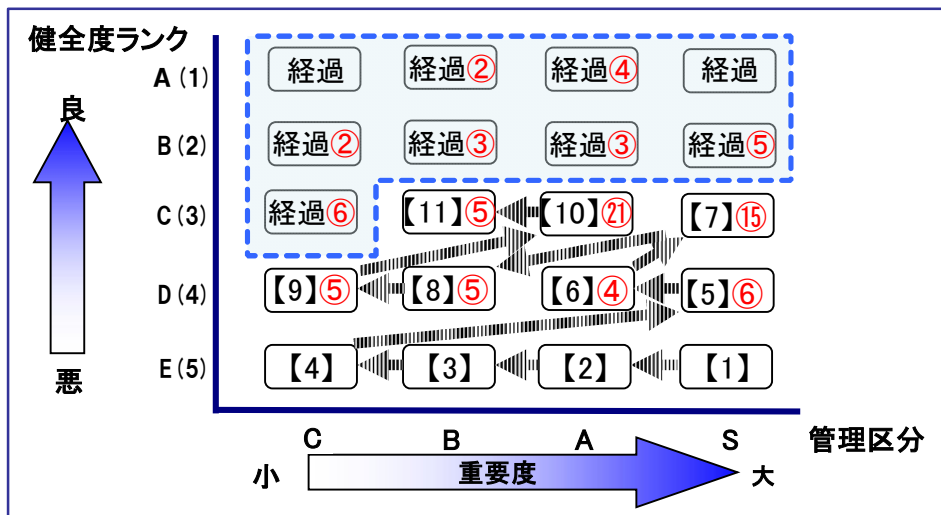
只見町の管理する橋梁の中には、供用開始当時に比べ利用状況が著しく減少している橋梁もあることから、現在の利用状況や代替え路の有無を把握したうえで周辺住民と調整し、橋の統廃合も視野に入れた維持管理を行っていきます。

短期的な数値目標として、幅1m程度の水路を跨ぐ小規模橋梁の内、5橋程度（亀岡1号橋、梁取田の口沢橋等）については、令和14年度までにボックスカルバート（溝橋の定義外）への架け替えを検討し、対応後の点検費用等約1000万円のコスト縮減を目指します。

また、経過観察型とした118橋については、パトロール・点検時に早期対応が必要な損傷が確認された段階で、撤去・集約化を踏まえて、補修内容を検討していきます。

2) 優先順位のつけ方

優先順位は以下のマトリックスにより管理区分と主要部材の健全度の関係から決めるものとします。



※丸囲み数字は、該当橋梁数(合計86橋)

3) 橋梁毎の点検結果 (個別施設の状態等)

3-1) 定期点検結果

只見町は平成27年度から平成30年度にかけて近接目視による1巡目の定期点検及び橋梁毎の健全性の診断を行いました。また、令和元年度から順次2巡目の定期点検を実施しております。橋梁毎の点検結果は以下のとおりです。

(重要度の高い86橋のうち、判定区分「Ⅱ」、健全度ランク「C(3)」以上)

番号	橋梁名	橋長 (m)	径間数	上部工 使用材料	上部工 構造形式	車道 幅員 (m)	竣功年	経過年	部材種別	健全度 ランク (前回)	健全度 区分 (前回)	前回 点検 年次	健全度 ランク	健全度 区分	最新 点検 年次	通 用
0018	熊倉橋	178.20	5	PC橋	プレテンT桁	5.00	1977	45	主桁、下部工	D(4)	Ⅲ	H28	D(4)	Ⅲ	R1	漏水・遊離石灰
0012	辰目沢橋	21.10	2	RC橋	RC T桁	7.00	1978	44	下部工	D(4)	Ⅲ	H28	D(4)	Ⅲ	R1	ひびわれ、漏水・遊離石灰、剥離・鉄筋露出、変形・欠損
0162	宮沢橋	4.45	1	RC橋	RC 中実床版	7.00	1983	39	床版	D(4)	Ⅲ	H28	D(4)	Ⅲ	R2	床版ひびわれ、漏水・遊離石灰
0014	町下橋	130.00	3	鋼溶接橋	トラス橋	4.00	1970	52	横桁、床版	D(4)	Ⅲ	H28	D(4)	Ⅲ	R1	腐食、防食機能の劣化、抜け落ち
0007	荒島橋	178.40	5	PC橋	プレテンT桁	5.00	1981	41	主桁、床版、下部工	D(4)	Ⅲ	H28	C(3)	Ⅱ	R1	ひびわれ、うき、漏水・遊離石灰、剥離・鉄筋露出
0005	白沢橋	35.80	1	PC橋	ボステンT桁	6.00	1977	45	横桁	D(4)	Ⅲ	H28	D(4)	Ⅲ	R1	漏水・遊離石灰
0020	不動滝橋	50.00	1	鋼溶接橋	トラス橋	2.50	1969	53	横桁、床版、下部工	D(4)	Ⅲ	H28	D(4)	Ⅲ	R1	腐食、防食機能の劣化、ひびわれ、剥離・鉄筋露出、床版ひびわれ、うき
0022	柴倉橋	100.00	2	鋼溶接橋	I桁(不明)	3.60	1973	49	主桁、床版、下部工	D(4)	Ⅲ	H28	D(4)	Ⅲ	R1	腐食、防食機能の劣化、ひびわれ、漏水・遊離石灰、変形・欠損、洗場
0042	沖の原橋	17.00	1	PC橋	ボステン箱桁	3.00	1970	52	主部材	D(4)	Ⅲ	H28	D(4)	Ⅲ	R1	ひびわれ、剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰、床版ひびわれ、うき
0035	芦沢橋	28.00	1	鋼溶接橋	I桁(不明)	5.00	1984	38	横橋	D(4)	Ⅲ	H28	D(4)	Ⅲ	R1	ゆるみ、脱落
0167	別当沢橋	3.80	2	RC橋	RC 中実床版	6.90	1975	47	下部工	D(4)	Ⅲ	H29	D(4)	Ⅲ	R4	ひびわれ、漏水・遊離石灰
0023	五礼橋	93.00	3	鋼溶接橋	I桁(不明)	4.00	1980	42	主桁、床版、下部工	D(4)	Ⅲ	H28	C(3)	Ⅱ	R2	腐食、防食機能の劣化、変形・欠損、ひびわれ、漏水・遊離石灰
0013	間丸貝橋	24.30	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	6.80	1982	40	主桁	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R1	腐食、防食機能の劣化
0041	宮の橋	27.60	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	2.00	1972	50	主桁、横桁	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R2	腐食、防食機能の劣化
0006	阿弥陀堂橋	77.20	3	鋼溶接橋	I桁(不明)	5.50	1970	52	床版、床版、下部工	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R1	漏水・遊離石灰、うき、ひびわれ
0003	櫛戸橋	139.60	3	鋼溶接橋	I桁(不明)	4.00	1976	46	床版、床版、下部工	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R1	腐食、防食機能の劣化、漏水・遊離石灰、ひびわれ、剥離・鉄筋露出
0008	亀岡橋	182.80	5	PC橋	プレテンT桁	8.00	1987	35	横桁、下部工	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R1	ひびわれ、剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰、変形・欠損
0002	十島橋	175.00	3	PC橋	ラーメン橋	6.00	1997	25	床版、下部工	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R1	床版ひびわれ、ひびわれ、漏水・遊離石灰
0011	柳原橋	36.70	1	PC橋	プレテンT桁	7.00	1986	36	主桁、床版、下部工	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R1	ひびわれ、変形・欠損、土砂詰まり
0009	山里橋	122.50	4	鋼溶接橋	I桁(不明)	5.00	1974	48	床版、下部工	D(4)	Ⅲ	H28	C(3)	Ⅱ	R1	漏水・遊離石灰、ひびわれ
0016	小川橋	136.30	3	鋼溶接橋	I桁(不明)	6.00	1975	47	床版、下部工	D(4)	Ⅲ	H28	C(3)	Ⅱ	R1	ひびわれ、漏水・遊離石灰、床版ひびわれ
0169	木滝橋	13.60	1	RC橋	RC T桁	6.00	1982	40	床版、下部工	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R4	ひびわれ、漏水・遊離石灰
0108	不動堂橋	3.82	1	RC橋	RC 中実床版	6.42	1983	39	床版、下部工	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R3	床版ひびわれ、漏水・遊離石灰、ひびわれ
0019	中の橋	132.00	3	鋼溶接橋	I桁(不明)	7.00	2013	9	床版、下部工	B(2)	I	H28	C(3)	Ⅱ	R1	床版ひびわれ、漏水・遊離石灰、その他
0106	岩下橋	2.80	1	RC橋	RC3連橋(RCカレバート)	6.50	1982	40	側壁	B(2)	I	H29	C(3)	Ⅱ	R3	変形・欠損
0104	初瀬橋	7.20	1	RC橋	RC 中実床版	5.29	1975	47	下部工	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R3	漏水・遊離石灰
0107	天道沢橋	5.30	1	RC橋	RC 中実床版	6.00	1983	39	下部工	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R3	漏水・遊離石灰
0199	田沢川橋	12.20	1	鋼溶接橋	I桁(不明)	3.10	1971	51	主桁	D(4)	Ⅲ	H29	D(4)	Ⅲ	R4	腐食、防食機能の劣化
0175	小林橋	11.35	1	RC橋	RC T桁	5.50	2000	22	下部工	D(4)	Ⅲ	H29	D(4)	Ⅲ	R4	剥離・鉄筋露出、うき、変形・欠損
0201	上山田橋	3.60	1	RC橋	RC 中実床版	3.50	1962	60	床版	D(4)	Ⅲ	H29	D(4)	Ⅲ	R4	剥離・鉄筋露出
0138	温谷沢橋	5.50	1	RC橋	RC T桁	4.00	1975	47	主桁	D(4)	Ⅲ	H29	D(4)	Ⅲ	R4	剥離・鉄筋露出、うき、変形・欠損
0197	八久保沢橋	10.40	1	PC橋	プレテン床版	3.00	1965	57	下部工	C(3)	Ⅱ	H29	D(4)	Ⅲ	R4	ひびわれ
0015	西山橋	20.00	2	RC橋	RC T桁	3.60	1962	60	床版、下部工	D(4)	Ⅲ	H28	D(4)	Ⅲ	R1	剥離・鉄筋露出、うき、漏水・遊離石灰、変形・欠損、錆付・腐蝕の痕跡
0039	木の実坂橋	23.40	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	2.00	1974	48	主桁、床版	D(4)	Ⅲ	H28	D(4)	Ⅲ	R2	腐食、防食機能の劣化、剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰
0025	真奈川橋	32.60	1	鋼溶接橋	I桁(不明)	3.00	1971	51	下部工	D(4)	Ⅲ	H28	D(4)	Ⅲ	R2	剥離・鉄筋露出、変形・欠損
0026	清沢橋	14.50	1	RC橋	RC T桁	3.60	1963	59	下部工	D(4)	Ⅲ	H28	D(4)	Ⅲ	R2	ひびわれ、漏水・遊離石灰、洗場
0139	空谷橋	4.60	1	RC橋	RC 中実床版	4.00	1975	47	床版	D(4)	Ⅲ	H29	D(4)	Ⅲ	R4	剥離・鉄筋露出、うき
0021	仲村橋	24.50	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	6.00	1991	31	主桁、床版、下部工	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R1	腐食、防食機能の劣化、ひびわれ、漏水・遊離石灰、床版ひびわれ
0105	前沢橋	13.00	1	PC橋	PC桁橋(その他)	7.00	1982	40	主桁	B(2)	I	H28	C(3)	Ⅱ	R3	漏水・遊離石灰
0045	小川沢橋	30.50	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	4.00	1971	51	主桁、横桁	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R2	腐食、防食機能の劣化
0017	倉谷橋	30.50	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	5.00	1978	44	床版、下部工	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R1	ひびわれ、漏水・遊離石灰、床版ひびわれ
0101	蓮の原橋	2.60	1	RC橋	RC3連橋(RCカレバート)	22.50	1975	47	頂版、側壁	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R3	漏水・遊離石灰、ひびわれ
0043	夏渡戸橋	25.20	2	RC橋	RC T桁	5.50	1970	52	主桁、床版、下部工	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R2	ひびわれ、剥離・鉄筋露出
0029	寺橋	20.00	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	3.00	1974	48	主桁、横桁	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R1	腐食、防食機能の劣化、うき、変形・欠損
0038	上坪橋	20.50	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	3.00	1980	42	主桁、床版、下部工	B(2)	I	H28	C(3)	Ⅱ	R1	腐食、防食機能の劣化、その他
0127	上川原橋	6.85	1	RC橋	RC3連橋(RCカレバート)	6.50	1991	31	頂版	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R3	ひびわれ
0100	九日田橋	3.20	1	RC橋	RC3連橋(RCカレバート)	4.85	1975	47	頂版	B(2)	I	H29	C(3)	Ⅱ	R3	ひびわれ
0099	植木ノ下橋	9.40	1	PC橋	PC 床版橋その他	5.00	1975	47	下部工	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R3	漏水・遊離石灰
0036	天沼橋	23.50	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	4.00	1988	34	床版、下部工	B(2)	I	H28	C(3)	Ⅱ	R1	ひびわれ、漏水・遊離石灰
0028	小塩沢橋	24.00	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	5.00	1986	36	下部工	B(2)	I	H28	C(3)	Ⅱ	R1	その他
0024	釜場橋	39.30	2	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	3.00	1988	34	下部工	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R2	変形・欠損

3) 橋梁毎の点検結果 (個別施設の状態等)

3-1) 定期点検結果

只見町は平成27年度から平成30年度にかけて近接目視による1巡目の定期点検及び橋梁毎の健全性の診断を行いました。また、令和元年度から順次2巡目の定期点検を実施しております。橋梁毎の点検結果は以下のとおりです。

(重要度の高い86橋のうち、判定区分「Ⅱ」、健全度ランク「C(3)」以上)

番号	橋梁名	橋長 (m)	径間数	上部工 使用材料	上部工 構造形式	車道 幅員 (m)	竣工年	経過年	部材種別	健全度 ランク (前回)	健全度 区分 (前回)	前回 点検 年次	健全度 ランク	健全度 区分	最新 点検 年次	適 用
0033	峯沢橋	65.00	3	PC橋	プレテンT桁	6.00	2000	22	横桁、下部工	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R1	剥離・鉄筋露出、漏水・滲水
0044	栗向橋	31.30	1	鋼溶接橋	I桁(不明)	4.00	1994	28	床版	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R2	床版ひびわれ、漏水・遊離石灰
0031	仁泉橋	24.00	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	4.00	1980	42	主桁	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R2	腐食、防食機能の劣化
0034	上八乙女橋	24.60	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	4.00	1988	34	下部工	B(2)	Ⅰ	H28	C(3)	Ⅱ	R1	その他、漏水・滲水
0032	荒井原橋	32.00	1	鋼溶接橋	I桁(不明)	2.50	1975	47	主桁	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R2	遊間の異常
0082	小白沢橋	12.50	1	RC橋	RC T桁	3.60	1962	60	主桁	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R3	ひびわれ
0200	山田橋	3.00	1	RC橋	RC 中実床版	3.50	1962	60	床版、下部工	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R4	ひびわれ、変形・欠損
0095	上井戸上沢橋	6.17	1	RC橋	RC 中実床版	7.26	1997	25	床版、下部工	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R3	床版ひびわれ、漏水・遊離石灰、変形・欠損
0173	穴沢橋	12.40	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	3.60	1985	37	主桁	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R2	腐食、防食機能の劣化
0172	西芦沢橋	12.10	1	PC橋	PC桁橋(その他)	2.65	1990	32	主桁、下部工	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R2	漏水・遊離石灰、ひびわれ
0027	統滝橋	20.00	2	RC橋	RC 中実床版	3.60	1961	61	主桁、床版、下部工	C(3)	Ⅱ	H28	C(3)	Ⅱ	R2	剥離・鉄筋露出、床版ひびわれ、漏水・遊離石灰、洗場
0058	大赤沢橋	4.90	1	RC橋	RC 中実床版	6.26	1965	57	床版、下部工	C(3)	Ⅰ	H27	C(3)	Ⅰ	R2	剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰、変形・欠損
0188	打杭2号橋	3.46	1	RC橋	RC連続(BOXC2/ルバーゴ)	3.20	1975	47	頂版				C(3)	Ⅱ	H30	剥離・鉄筋露出、床版ひびわれ、漏水・遊離石灰、洗場
0187	打杭1号橋	3.40	1	RC橋	RC連続(BOXC2/ルバーゴ)	3.55	1975	47	頂版				C(3)	Ⅱ	H30	漏水・遊離石灰、床版ひびわれ
0083	小井戸沢橋	2.60	1	RC橋	RC 中実床版	3.60	1962	60	下部工	C(3)	Ⅱ	H29	C(3)	Ⅱ	R3	漏水・遊離石灰、変形・欠損、洗場
0171	旗吹沢橋	2.03	1	RC橋	RC連続(BOXC2/ルバーゴ)	4.25	1996	26	側壁				C(3)	Ⅱ	H30	剥離・鉄筋露出、変形・欠損、沈下・移動・傾斜

区分		状態	健全度 ランク	判定区分	備 考	該当橋梁数	割 合
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態	A(1)	健全	損傷が認められない	28橋	14%
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、 予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態	B(2)	対策不要	損傷が軽微で補修を行う必要がない	53橋	26%
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じている可能性があり、 早期に措置を講ずべき状態	C(3)	状況に応じ 早めに対策	状況に応じて補修を行う必要がある	92橋	45%
			D(4)	早急に補修 必要	速やかに補修を行う必要がある	30橋	15%
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、 緊急に措置を講ずべき状態	E(5)	緊急対応の 必要	緊急対策の必要がある	0橋	0%

定期点検による判定区分と修繕計画健全度ランクの関係
(町管理橋梁：204橋 ※1橋未点検)

4) 全橋梁の優先順位一覧表

上記を考慮した橋梁全体の優先順位一覧表は添付の通りです。

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期 (5. 対策内容と実施時期)
 (・ 構造物の諸元、・ 直近の点検結果及び次回点検年度、・ 対策内容、・ 対策の着手、完了予定年度)
 様式1-2による

※補修工法の選定にあたっては、NETIS等に登録され活用促進技術に指定されている新技術について、従来工法とのライフサイクルコストの比較検討を行った後に積極的に採用し、維持管理費用の縮減や再劣化防止等に努めていきます。

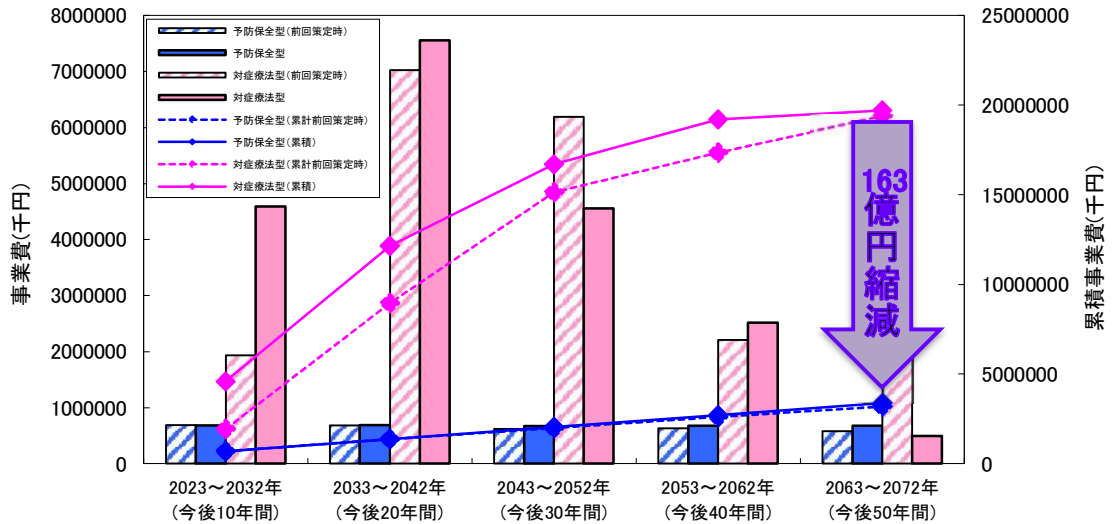
●活用促進技術に指定されている新技術の例
 鋼橋の塗装：錆転換型塗装（登録番号）
 コンクリート部材：断面修復工（登録番号）
 伸縮装置：（登録番号）

(6. 対策費用の概算 (・ 対策に係る全体概算事業費) は、様式1-2、各橋梁の長寿命化修繕計画による)

6. 長寿命化修繕計画による効果

只見町が管理する橋梁について、点検結果を基に今後50年間の予算シミュレーションを行い、以下の結果が得られました。

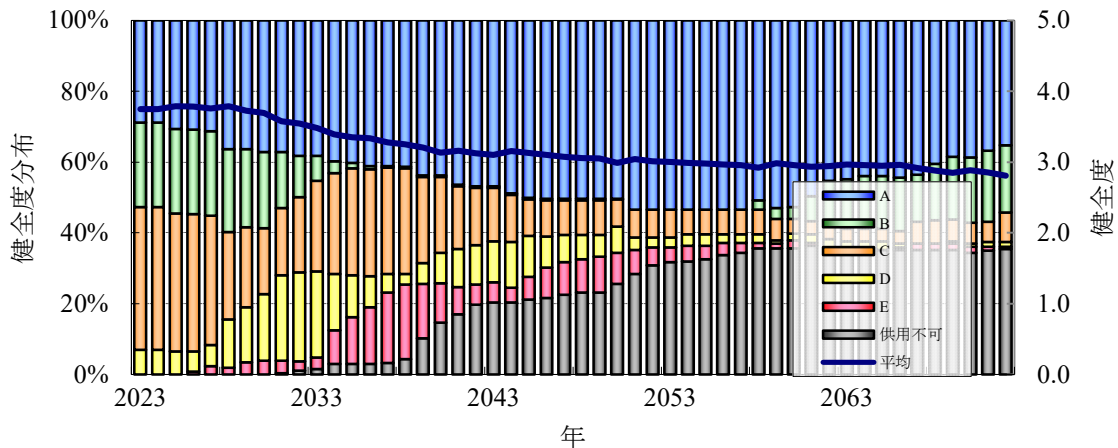
長寿命化修繕計画を策定する橋梁について、年間の予算制約額を0.70億円とし今後50年間の事業費を比較すると、従来の対症療法型が197億円に対し、長寿命化修繕計画の実施による予防保全型が34億円となり、コスト縮減効果は163億円 (82.7%減) となります。



※前回策定時と比較して、対象橋梁が増加し、また、中長スパン橋梁の健全度が悪化しているため、単純比較不可能

また、計画的な修繕を実施することにより、健全度を維持することが可能となり、損傷に起因する通行制限等が減少し、道路の安全性及び信頼性が確保されます。

健全度分布の推移 (主部材のみ)



7. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

1) 計画策定担当部署
只見町 農林建設課 建設係 tel : 0241-82-5270

2) 意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者
日本大学 工学部 土木工学科 教授 岩城 一郎

凡例： ← → 対策を実施すべき時期を示す。

← → 下は補修部材及び補修内容を示す。

橋梁名	道路種別	路線名	橋長(m)	架設年度	供用年数	最新点検年次	最新点検結果	対策の内容・時期														合計(千円)	
								R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14						
夏渡戸橋	その他	塩沢寺2号線	25.2	1970	53	R2	II				点検						点検						
寺橋	その他	塩沢寺線	20	1974	49	R1	II			点検							点検						
上坪橋	その他	上照岡・上平線	20.5	1980	43	R1	II			点検							点検						
上川原橋	その他	黒下・川代田線	6.85	1991	32	R3	II														点検		3,080
九日田橋	1級	下福井・根木屋線	3.2	1975	48	R3	II														点検		
植木ノ下橋	1級	下福井・根木屋線	9.4	1975	48	R3	II														点検		
天沼橋	その他	天沼橋線	23.5	1988	35	R1	II			点検											点検		
小塩沢橋	その他	塩沢堤線	24	1986	37	R1	II			点検											点検		
釜場橋	その他	蒲生釜場線	39.3	1988	35	R2	II				点検										点検		
峯沢橋	その他	黒谷東山線	65	2000	23	R1	II			点検											点検		
栗向橋	その他	坂田夏渡戸2号線	31.3	1994	29	R2	II				点検										点検		
仁泉橋	その他	黒沢北山線	24	1980	43	R2	II				点検										点検		
上八乙女橋	その他	八乙女4号線	24.6	1988	35	R1	II			点検											点検		
荒井原橋	その他	小川・荒井原線	32	1975	48	R2	II				点検										点検		
小白沢橋	その他	真奈川2号線	12.5	1962	61	R3	II				点検										点検		
山田橋	その他	山田線	3	1962	61	R4	II					点検										点検	
上井戸上沢橋	その他	入叶津井戸上沢3号線	6.18	1997	26	R3	II					点検									点検		
穴沢橋	その他	小林・塩ノ岐2号線	12.4	1985	38	R2	II					点検									点検		1,720
西芦沢橋	その他	芦沢1号線	12.1	1990	33	R2	II														点検		1,781
続滝橋	その他	真奈川2号線	20	1961	62	R2	II					点検									点検		
大赤沢橋	その他	大赤沢水源線	4.9	1965	58	R4	II					点検									点検		
打杭2号橋	その他	打杭線	3.46	1975	48	H30	II			点検											点検		
打杭1号橋	その他	打杭線	3.4	1975	48	H30	II			点検											点検		4,717
小井戸沢橋	その他	真奈川2号線	2.6	1962	61	R3	II					点検									点検		2,550
旗吹沢橋	その他	柳原大田和線	2.03	1996	27	H30	II			点検											点検		3,251
朝日橋	1級	黒谷・一の坪線	150	1984	39	R1	I			点検											点検		
八乙女橋	1級	小林・塩ノ岐線	34	1972	51	R1	I			点検											点検		
下野々沢橋	1級	小林・塩ノ岐線	10	1983	40	R2	I				点検										点検		
糸沢橋	1級	小林・塩ノ岐線	10.2	1984	39	R2	I				点検										点検		
万代橋	1級	石伏・館ノ川線	80	2019	4	R2	I				点検										点検		
中千苜橋	1級	朝日学校・大畑線	2.15	2020	3	R3	I					点検									点検		4,362
ナメ沢橋	その他	西天沼ナメ原線	22	1980	43	R2	I					点検									点検		
上原橋	その他	塩沢寺線	27	1995	28	R1	I			点検											点検		
又白沢1号橋	その他	布沢寺線	6.4	1965	58	R4	I														点検		
小蒲生沢橋	その他	蒲生北山釜場線	13.8	1994	29	R3	I														点検		3,907
井戸上沢橋	その他	入叶津井戸上沢2号線	5.4	1975	48	R3	I					点検									点検		
宮淵1号橋	その他	宮淵公民館線	2.7	1975	48	R4	I														点検		
ナタ滝橋	その他	塩沢寺2号線	4.5	1995	28	R3	I					点検									点検		
新屋敷橋	1級	前道線	2.6	1989	34	R2	I														点検		1,907
田ノ口2号橋	2級	町下・柴倉線	5	2013	10	R2	I					点検									点検		
田ノ口1号橋	1級	前道線	4	2017	6	R2	I					点検									点検		
ばんばの橋	その他	布沢上平・宮線	32	2000	23	R2	I					点検									点検		
弥太が島橋	2級	真奈川線	2.3	1962	61	R2	I					点検									点検		
唱平橋	その他	唱平2号線	5.2	1975	48	H27	I			点検											点検		2,562

※灰色：経過観察対応(118橋)

凡例：←→ 対策を実施すべき時期を示す。

←→下は補修部材及び補修内容を示す。

橋梁名	道路種別	路線名	橋長(m)	架設年度	供用年数	最新点検年次	最新点検結果	対策の内容・時期														合計(千円)
								R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14					
寺下橋	2級	町下・向山線	5.7	不明	-	R2	I			点検							点検					
小赤沢橋	その他	大赤沢・町下線	3.1	不明	-	R2	I			点検							点検					
只見2号橋	その他	只見スキー場線	2.9	不明	-	R2	I			点検							点検					
田ノ口5号橋	その他	田ノ口線	5.5	不明	-	R2	II			点検							点検					
赤沢1号橋	その他	赤沢・上町線	5.2	1989	33	R2	I			点検							点検					
岩崎2号橋	その他	岩崎2号線	2.1	不明	-	R2	I			点検							点検					
不動沢橋	その他	西只見テレビ塔線	3	2015	7	R2	I			点検							点検					
只見4号橋	その他	三石線	2.9	不明	-	R2	I			点検							点検					
赤沢橋	その他	赤沢・赤沢下線	2.5	不明	-	R2	I			点検							点検					
岩崎1号橋	その他	岩崎3号線	2.1	不明	-	R2	I			点検							点検					
岩崎3号橋	その他	岩崎・寺下線	2.6	不明	-	R2	I			点検							点検					
田ノ口3号橋	その他	田中・原線	5	不明	-	R2	I			点検							点検					
原3号橋	その他	田中・原線	2.7	不明	-	R2	I			点検							点検					
原2号橋	その他	原10号線	2.4	不明	-	R2	I			点検							点検					
新町2号橋	その他	新町・新屋敷下2号線	2.4	不明	-	R2	I			点検							点検					
沼田1号橋	その他	沼田線	2.34	不明	-	R3	I				点検							点検				
沼田2号橋	その他	沼田牛岩線	2.34	不明	-	R3	II				点検							点検				
沼田原橋	その他	沼田牛岩線	3.74	不明	-	R3	I				点検							点検				
田ノ口4号橋	その他	田ノ口・雨堤線	5.9	不明	-	R3	I				点検							点検				
只見1号橋	その他	田ノ口3号線	2.7	不明	-	R4	I					点検										
田ノ口7号橋	その他	田ノ口3号線	5.8	不明	-	R3	II				点検							点検				
只見3号橋	その他	田ノ口・下田ノ口線	3.1	不明	-	R4	I					点検										
田ノ口6号橋	その他	田ノ口・下田ノ口線	3.8	不明	-	R4	III					点検										
田ノ口8号橋	その他	下田ノ口4号線	6.1	不明	-	R3	III				点検							点検				
畑沢橋	その他	下田ノ口4号線	6.1	不明	-	R3	III				点検							点検				
只見5号橋	その他	雨堤3号線	3.8	不明	-	R4	I					点検										
只見6号橋	その他	雨堤5号線	3.3	不明	-	R4	I					点検										
只見7号橋	その他	雨堤7号線	3.3	不明	-	R4	I					点検										
宮ノ沢橋		下八木沢・中島線	2.7	不明	-	R3	III				点検							点検				
小蒲生橋	その他	蒲生北山線	5.4	1975	47	R3	I				点検							点検				
宮原橋	その他	宮原・塩沢線	2.4	1962	60	R3	II				点検							点検				
寄岩橋	その他	寄岩上原線	8.5	不明	-	R3	II				点検							点検				
上原橋	その他	寄岩糸沢線	4.5	不明	-	R3	I				点検							点検				
新田沢橋	その他	只見湖・館ノ川線	9.3	不明	-	R3	II				点検							点検				
蛭山沢橋	その他	蒲生居平片淵線	3.5	不明	-	R3	II				点検							点検				
入りの沢橋	その他	宮淵見取原線	2.2	不明	-	R4	III					点検										
後山1号橋	その他	根岸・上ノ原線	4	不明	-	R3	I				点検							点検				
後山2号橋	その他	根岸・上ノ原線	4.5	不明	-	R3	III				点検							点検				
町下1号橋	その他	上町・町下線	2.1	2002	20	R4	I					点検										
後田2号橋	1級	下福井・根木屋線	5.4	不明	-	R3	I				点検							点検				
三日町橋	1級	下福井・根木屋線	2.4	不明	-	R4	II					点検										
旭北橋	1級	朝日学校・大畑線	4.6	不明	-	R3	I				点検							点検				
清水下橋	2級	長浜幹線	2.55	不明	-	R3	II				点検							点検				
川除橋	2級	長浜幹線	2.4	不明	-	R3	II				点検							点検				

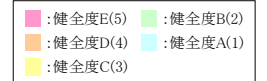
※灰色：経過観察対応
(118橋)

凡例：←→ 対策を実施すべき時期を示す。

←→下は補修部材及び補修内容を示す。

橋梁名	道路種別	路線名	橋長(m)	架設年度	供用年数	最新点検年次	最新点検結果	対策の内容・時期										合計(千円)			
								R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14				
唱平1号橋	その他	唱平3号線	3.56	不明	-	H30	II	点検						点検							
肘折1号橋	その他	肘折6号線	3.4	不明	-	H30	I	点検						点検							
小畑沢橋	その他	小塩川原5号線	6.4	2004	18	R4	I						点検							点検	
小林仲田橋	2級	橋場・上坪線	5.4	不明	-	R4	I						点検							点検	
虚空蔵橋	2級	梁取幹線	3.9	不明	-	R4	II						点検							点検	
城下橋	2級	梁取幹線	3.3	不明	-	H30	II	点検						点検							
宮沢2号橋	その他	塩ノ岐寺線	3.23	不明	-	H30	II	点検						点検							
下前田橋	その他	下前田4号線	5.2	不明	-	R4	II						点検							点検	
小林白沢橋	その他	明公・上平神社線	4.2	不明	-	R4	II						点検							点検	
上平橋	その他	上平・明中線	9.4	1979	43	R4	I						点検							点検	
上白沢橋	その他	小林白沢線	5.9	不明	-	R4	I						点検							点検	
鳥居田2号橋	その他	小林鳥居田4号線	6.7	不明	-	R4	I						点検							点検	
仏地1号橋	その他	梁取仏地1号線	2	不明	-			点検						点検							
梁取2号橋	その他	梁取寺前線	3	不明	-	H30	II	点検						点検							
梁取1号橋	その他	梁取1号線	2.27	不明	-	H30	II	点検						点検							
井戸沢橋	その他	梁取井戸沢線	2.6	不明	-	H30	III	点検						点検							
梁取田ノ口沢橋	その他	梁取沖6号線	4.8	不明	-	H30	II	点検						点検							
梁取3号橋	その他	梁取村中下線	2.3	不明	-	H30	II	点検						点検							
梁取4号橋	その他	梁取沖線	2.2	不明	-	H30	II	点検						点検							
篠輪3号橋	その他	篠輪線	4.3	不明	-	H30	II	点検						点検							
駒井野橋	その他	高砂・塩ノ沢線	3.5	不明	-	H30	I	点検						点検							
篠輪2号橋	その他	篠輪2号線	3.15	不明	-	R4	I						点検							点検	
上和田沢橋	その他	仲村上和田4号線	2.4	不明	-	H30	I	点検						点検							
仮安沢橋	その他	向平・仮安線	5	不明	-	H30	II	点検						点検							
又白沢3号橋	その他	布沢上平線	2.86	不明	-	H30	II	点検						点検							
又白沢2号橋	その他	布沢上平線	3.18	不明	-	H30	II	点検						点検							
水無橋	その他	布沢水無線	12.25	不明	-	R4	III						点検							点検	
別当沢2号橋	その他	梁取大田・御東線	2.68	不明	-	R4	II						点検							点検	
仏地2号橋	その他	梁取仏地6号線	2.14	不明	-	H30	II	点検						点検							
押出沢橋	1級	石伏・館ノ川線	3.84	不明	-	H30	II	点検						点検							
合 計 (千円)								69,381	68,770	64,522	78,361	79,999	79,943	44,375	54,190	66,288	73,330				

※灰色：経過観察対応
(118橋)



番号	橋梁名	諸元							重要度評価指標							総合評価指標					部材健全度		優先順位 指標 (A=100-B)	優先順位	優先順位 区分	管理区分	管理区分内訳										余寿命 (年)	今後50年補修費用			
		橋長 (m)	径間数	上部工 使用材料	上部工 構造形式	車道 幅員 (m)	竣工年	経過年	緊急 輸送路	道路 等級	緊急 輸送路	橋長	車道 幅員	道路 区分	バス 路線	交差 条件	重要度 合計 (A)	耐荷性	災害 抵抗性	走行 安全性	平均 (B)	部材種別					健全度 ランク	緊急 輸送路	道路 区分	バス 路線	該当数	評価 ①	交差 条件	評価 ②	橋長 5m未 満	カルパー ト 特異形式		評価 ③	今後5年 (百万円)	残り (百万円)	合計 (百万円)
0018	熊倉橋	178.20	5	RC橋	プレテンT桁	5.00	1977	45	第1次確	2級	10	15	5	5	10	0	45	10.0	20.0	0.0	10.0	主部材	D(4)	135.0	1(3)	5	S	○	○	○	3	S	-	-	-	-	B	-	41.9	66.2	108.1
0012	辰目沢橋	21.10	2	RC橋	RC T桁	7.00	1978	44	第1次確	1級	10	5	10	10	10	0	45	5.0	0.0	40.0	15.0	下部工	D(4)	130.0	2(1)	5	S	○	○	○	3	S	-	-	-	-	B	-	125.0	11.0	136.1
0162	宮沢橋	4.45	1	RC橋	RC 中実床版	7.00	1983	39	第1次確	1級	10	0	10	10	10	0	40	45.0	35.0	0.0	26.7	床版	D(4)	113.3	3(6)	5	S	○	○	○	3	S	-	-	○	-	C	-	25.8	3.7	29.4
0014	町下橋	130.00	3	鋼溶接橋	トラス橋	4.00	1970	52	指定なし	2級	0	15	5	5	0	0	25	0.0	0.0	10.0	3.3	主部材	D(4)	121.7	4(2)	5	S	-	○	-	1	B	-	-	-	-	B	-	150.6	156.6	307.1
0007	荒島橋	178.40	5	PC橋	プレテンT桁	5.00	1981	41	第1次確	1級	10	15	5	10	10	0	50	25.0	25.0	65.0	38.3	主部材	C(3)	111.7	5(14)	7	S	○	○	○	3	S	-	-	-	-	B	-	0.0	130.8	130.8
0005	白沢橋	35.80	1	PC橋	ボステンT桁	6.00	1977	45	第1次確	1級	10	5	10	10	10	0	45	0.0	15.0	60.0	25.0	主部材	D(4)	120.0	6(4)	5	S	○	○	○	3	S	-	-	-	-	B	-	0.0	82.7	82.7
0020	不動滝橋	50.00	1	鋼溶接橋	トラス橋	2.50	1969	53	指定なし	2級	0	10	0	5	0	0	15	0.0	0.0	10.0	3.3	主部材	D(4)	111.7	7	6	A	-	○	-	1	B	-	-	-	-	B	46	0.0	182.6	182.6
0022	柴倉橋	100.00	2	鋼溶接橋	I桁(不明)	3.60	1973	49	指定なし	その他	0	15	5	0	0	0	20	0.0	0.0	35.0	11.7	主部材	D(4)	108.3	8(5)	5	S	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	-	0.0	173.2	173.2
0042	沖の原橋	17.00	1	PC橋	ボステン箱桁	3.00	1970	52	指定なし	その他	0	5	5	0	0	0	10	0.0	5.0	10.0	5.0	主部材	D(4)	105.0	9(8)	6	A	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	47	0.0	85.2	85.2
0035	芦沢橋	28.00	1	鋼溶接橋	I桁(不明)	5.00	1984	38	指定なし	その他	0	5	5	0	0	0	10	0.0	10.0	35.0	15.0	主部材	D(4)	95.0	10(9)	6	A	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	50以上	0.0	160.9	160.9
0167	別当沢橋	3.80	2	RC橋	RC 中実床版	6.90	1975	47	指定なし	2級	0	0	10	5	10	0	25	55.0	15.0	50.0	40.0	下部工	D(4)	85.0	11(10)	6	A	-	○	-	2	A	-	-	○	-	C	50以上	0.0	35.7	35.7
0023	五礼橋	93.00	3	鋼溶接橋	I桁(不明)	4.00	1980	42	指定なし	その他	0	10	5	0	0	0	15	35.0	35.0	65.0	45.0	主部材	C(3)	70.0	12(44)	10	A	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	50以上	0.0	404.0	404.0
0013	間丸貝橋	24.30	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	6.80	1982	40	第1次確	1級	10	5	10	10	10	0	45	10.0	20.0	40.0	23.3	主部材	C(3)	121.7	13(12)	7	S	○	○	○	3	S	-	-	-	-	B	-	0.0	74.1	74.1
0041	宮の橋	27.60	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	2.00	1972	50	指定なし	その他	0	5	0	0	0	0	5	25.0	25.0	65.0	38.3	主部材	C(3)	66.7	14(46)	10	A	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	49	0.0	139.4	139.4
0006	阿弥陀堂橋	77.20	3	鋼溶接橋	I桁(不明)	5.50	1970	52	第1次確	1級	10	10	5	10	10	0	45	10.0	20.0	40.0	23.3	主部材	C(3)	121.7	15(11)	7	S	○	○	○	3	S	-	-	-	-	B	-	0.0	336.1	336.1
0003	櫛戸橋	139.60	3	鋼溶接橋	I桁(不明)	4.00	1976	46	第1次確	1級	10	15	5	10	0	0	40	10.0	20.0	40.0	23.3	主部材	C(3)	116.7	16(13)	7	S	○	○	-	2	A	-	-	-	-	B	-	0.0	503.0	503.0
0008	亀岡橋	182.80	5	PC橋	プレテンT桁	8.00	1987	35	第1次確	1級	10	15	10	10	10	0	55	30.0	35.0	65.0	43.3	主部材	C(3)	111.7	17(15)	7	S	○	○	○	3	S	-	-	-	-	B	-	0.0	0.0	0.0
0002	十島橋	175.00	3	PC橋	ラーメン橋	6.00	1997	25	指定なし	1級	0	15	10	10	10	0	45	35.0	30.0	45.0	36.7	床版	C(3)	108.3	18(16)	7	S	-	○	-	2	A	-	-	-	-	B	-	0.0	0.0	0.0
0011	柳原橋	36.70	1	PC橋	プレテンT桁	7.00	1986	36	第1次確	1級	10	5	10	10	10	0	45	25.0	25.0	65.0	38.3	主部材	C(3)	106.7	19(17)	7	S	○	○	○	3	S	-	-	-	-	B	-	0.0	0.0	0.0
0009	山里橋	122.50	4	鋼溶接橋	I桁(不明)	5.00	1974	48	第1次確	1級	10	15	5	10	10	0	50	60.0	40.0	50.0	50.0	床版	C(3)	100.0	20(18)	7	S	○	○	○	3	S	-	-	-	-	B	-	0.0	0.0	0.0
0016	小川橋	136.30	3	鋼溶接橋	I桁(不明)	6.00	1975	47	第1次確	2級	10	15	10	5	10	0	50	60.0	40.0	50.0	50.0	床版	C(3)	100.0	21(19)	7	S	○	○	○	3	S	-	-	-	-	B	-	0.0	0.0	0.0
0169	木滝橋	13.60	1	RC橋	RC T桁	6.00	1982	40	第1次確	2級	10	0	10	5	10	0	35	35.0	30.0	45.0	36.7	床版	C(3)	98.3	22(20)	7	S	○	○	○	3	S	-	-	-	-	B	-	0.0	0.0	0.0
0108	不動堂橋	3.82	1	RC橋	RC 中実床版	6.42	1983	39	第1次確	2級	10	0	10	10	10	0	40	60.0	40.0	50.0	50.0	床版	C(3)	90.0	23(21)	7	S	○	○	○	3	S	-	-	○	-	C	-	0.0	25.9	25.9
0019	中の橋	132.00	3	鋼溶接橋	I桁(不明)	7.00	2013	9	第1次確	2級	10	15	10	5	10	0	50	65.0	65.0	50.0	60.0	床版	C(3)	90.0	24(22)	7	S	○	○	○	3	S	-	-	-	-	B	-	0.0	0.0	0.0
0106	岩下橋	2.80	1	RC橋	RC橋(BOXカルバート)	6.50	1982	40	第1次確	1級	10	0	10	10	10	0	40	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	75.0	25(23)	7	S	○	○	○	3	S	-	-	○	○	C	-	0.0	6.0	6.0
0104	初瀬橋	7.20	1	RC橋	RC 中実床版	5.29	1975	47	第1次確	1級	0	5	10	10	10	0	35	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	70.0	26(24)	7	S	○	○	○	3	S	-	-	-	-	B	-	0.0	18.3	18.3
0107	天道沢橋	5.30	1	RC橋	RC 中実床版	6.00	1983	39	第1次確	1級	10	0	10	10	10	0	40	90.0	50.0	100.0	80.0	下部工	C(3)	60.0	27(25)	7	S	○	○	○	3	S	-	-	-	-	B	-	0.0	15.0	15.0
0199	田沢川橋	12.20	1	鋼溶接橋	I桁(不明)	3.10	1971	51	第1次確	その他	10	0	5	0	0	0	15	0.0	10.0	35.0	15.0	主部材	D(4)	100.0	28(26)	8	B	○	-	-	1	B	-	-	-	-	B	8	0.0	53.9	53.9
0175	小林橋	11.35	1	RC橋	RC T桁	5.50	2000	22	指定なし	その他	0	0	5	0	0	0	5	5.0	0.0	40.0	15.0	下部工	D(4)	90.0	29(27)	8	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	37	0.0	0.0	0.0
0201	上山田橋	3.60	1	RC橋	RC 中実床版	3.50	1962	60	第1次確	その他	10	0	5	0	0	0	15	45.0	35.0	25.0	35.0	床版	D(4)	80.0	30(28)	8	B	○	-	-	1	B	-	-	○	-	C	0	0.0	28.7	28.7
0138	温谷沢橋	5.50	1	RC橋	RC T桁	4.00	1975	47	指定なし	その他	0	0	5	0	0	0	5	0.0	15.0	60.0	25.0	主部材	D(4)	80.0	31(29)	8	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	12	0.0	100.6	100.6
0197	八久保沢橋	10.40	1	PC橋	プレテン床版	3.00	1965	57	指定なし	その他	0	0	5	0	0	0	5	30.0	5.0	45.0	26.7	下部工	D(4)	78.3	32(30)	8	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	2	0.0	0.0	0.0
0015	西山橋	20.00	2	RC橋	RC T桁	3.60	1962	60	指定なし	2級	0	5	5	0	0	0	15	0.0	0.0	15.0	5.0	床版	D(4)	110.0	33(31)	8	B	○	-	-	1	B	-	-	-	-	B	50以上	0.0	0.0	0.0
0039	木の裏坂橋	23.40	1	鋼溶接橋	H形																																				

